



令和8年 9月27日(日)

13:00 開演 (12:00 開場)

十四世喜多六平太記念能楽堂 (喜多能楽堂)

前売券：販売中

料金：全席指定(税込)

S席	10,000円	C席(1階後席)	7,500円
A席	9,000円	D席(2階席)	7,500円
B席	8,000円	学生席(2階席)	2,500円

※25歳以下、要学生証提示

- ・12時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。
お気軽にご参加ください。
- ・当日券をご用意できる場合は11時45分より発売いたします。

主催：公益財団法人十四世六平太記念財団

協力：一般社団法人喜多流職分会

喜多流自主公演

令和八年 九月

六 浦 佐藤 寛泰
融 大島 輝久
遊曲之舞

令和8年度 喜多流自主公演について

- ◆ 令和8年度(令和8年4月～令和9年3月)は全10回公演です。
- ◆ 指定席券 全10回公演分 販売中
- ◆ 全席指定(税込) S席 10,000円 C席(1階後席) 7,500円
A席 9,000円 D席(2階席) 7,500円
B席 8,000円 学生席(2階席) 2,500円
※25歳以下、要学生証提示
- ◆ 令和8年度 喜多流自主公演年間優待券
5枚綴 40,000円(税込)
- ・ご希望のどの席種でもお選びいただけるお得な優待券です。
- ・別途座席指定券をご予約ください。(追加料金なし)
- ・令和8年度自主公演のみ有効、喜多流青年能ではご利用いただけません。
- ・喜多能楽堂事務局、喜多流各職分にてお取り扱いしております。

チケット予約購入のご案内

インターネット予約

喜多能楽堂ホームページ <https://kita-noh.com/ticket/>
(24時間対応、要登録・無料)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示される番号をレジにご提示の上、チケットをお受け取りください。お支払いは現金またはクレジットカード・キャッシュレス決済をご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

② 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際に画面に表示される番号を窓口にご提示の上、チケットをお受け取りください。事前に予約画面にてクレジットカードによるオンライン決済をお済ませください。当日のお支払いはお受けいたしかねます。

電話予約

喜多能楽堂事務局(喜多能楽堂内) TEL. 03-3491-8813
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受け取りください。お支払いは現金またはクレジットカード・キャッシュレス決済をご利用いただけます。

② 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際にお伝えする番号を窓口にご提示の上、チケットをお受け取りください。お支払いは現金のみとなります。

窓口予約

喜多能楽堂事務局(喜多能楽堂内) TEL. 03-3491-8813
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

お支払いは現金のみ、チケットは窓口でお受け取りください。

- ※ お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。
ご予約の際ご案内いたします。
- ※ ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

自主公演観客席ご案内

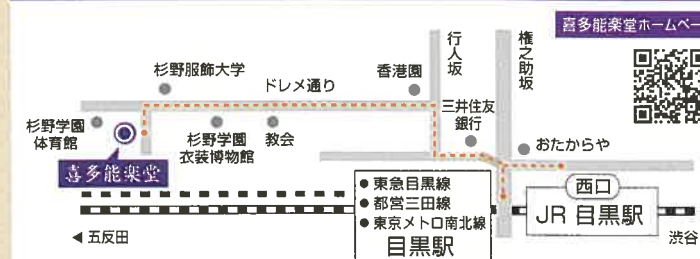


S席	10,000円	C席(1階後席)	7,500円
A席	9,000円	D席(2階席)	7,500円
B席	8,000円	学生席(2階席)	2,500円

※25歳以下、要学生証提示

会場ご案内

十四世喜多六平太記念能楽堂(喜多能楽堂)



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。
目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。
※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車での来場はご遠慮願います。

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

お問い合わせ(喜多能楽堂事務局) TEL. 03-3491-8813

喜多能楽堂ホームページ <https://kita-noh.com/>

ご注意

- ・ロビーが混雑することがありますので、できるだけ開場時間に合わせましてご来場をお願いいたします。
- ・開演中の途中入場はお断りいたします。
- ・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・喜多能楽堂内に食堂や軽食の売店はございません。
- ・喜多能楽堂は全館禁煙です。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。
- ・盗難・紛失についての責任は負いかねます。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

九月喜多流自主公演番組

解説開始 十二時十五分
開演 十三時

事前解説 谷 友矩

能

六 浦

後シテ・楓の精
前シテ・里女 佐藤寛泰

ワキ・僧 御厨誠吾
ワキ連・從僧 大日方 寛

ワキ連・從僧 梅村昌功

アイ・六浦所の者 山本泰太郎

後見 内田安信
友枝雄人

金子龍晟 高林呻二
栗谷浩之 狩野了一
栗谷充雄 中村邦生
友枝真也 金子敬一郎

地謡

狂言

蚊 相撲

シテ・大名 山本泰太郎

アド・太郎冠者 山本則秀
アド・蚊の精 山本凜太郎

休憩 (二十分)

仕舞

笹之段 大村 定
是 界 塩津圭介

地謡 高林昌司
栗谷充雄
友枝雄人
谷 友矩

能

融

後シテ・源融の霊
前シテ・老翁

大島輝久

ワキ・旅僧 則久英志

アイ・所ノ者 山本則重

大鼓 亀井洋佑 太鼓 小寺真佐人
小鼓 田邊恭資 笛 松田弘之

遊曲之舞

附祝言

後見 香川靖嗣
高林昌司

地謡 狩野祐一 佐々木多門
佐藤陽 長島 茂
塩津圭介 出雲康雅
谷 友矩 内田成信

終了予定時刻 五時頃

解説

六 浦 (むつら)

都の僧が東国行脚の道すがら六浦の称名寺を訪れる。周辺の山々の紅葉がまさに盛りの中、本堂の庭に一葉も紅葉していない一本の楓の木を見つける。不審に思っていると、どこからともなく一人の女が現れその理由を語る。昔、鎌倉の中納言為相卿がこの寺に紅葉を見に訪れた時、この木が他の木に先駆けて紅葉していたのを見て一首の歌を詠じた。この木は詠歌にあずかったことを榮譽とし「功成り名遂げて身退くはこれ天の道なり」という古い言葉に従い、それ以来紅葉するのを止め常磐木のようになった。実は自分はこの楓の精である。そう語ると女は草木を掻き分けて消え去る。(中人)

その夜、僧が回向をしていると、この楓の木の精が現れる。草木も四季折々の時節を知り様々の姿を現す、心あるものであると述べ、成仏を願う舞を舞うと、夜明けとともに姿は薄らいで見えなくなってしまう。

(約八十分)

蚊 相撲 (かずもう)

天下泰平の世、相撲が大流行する中、大名は自らも強い力士を抱えたいと家来の太郎冠者に人探しを命じる。太郎冠者が連れてきたのは、どこか風変わりな男。実はその正体は、近江・守山に棲む『蚊の精』だった。

大名が試しに相撲を取ると、男は不思議な力で大名を押し倒してしまう。守山が蚊の名所であることから正体に気づいた大名は、太郎冠者に扇で風を送らせて再び勝負に挑む。風を嫌う蚊の精はたちまち弱り、ついに正体を現す。大名は見事に蚊の精を退治し、相撲騒動は幕を閉じる。

(約三十五分)

融 遊曲之舞 (とおる ゆうきよくのまい)

諸国一見のため、東国から都に上ってきた旅僧が、六条河原院の廃墟で休んでいると、目の前に潮汲みの老人が現れる。海辺でないのに不思議に思った旅僧が老人に尋ねると、この辺りは昔、源融の邸宅で、融の大臣は庭に陸奥の千賀の塩竈の景色を再現させ、ここで潮を汲ませて塩を焼かせ、その風流を楽しんだことを語る。しかしそれを受け継ぐ者もなく現在は荒れ果てていると言う。老人は旅僧に周囲の名所を教え、汀で潮を汲むとそのまま姿を消す。(中人)

やがて僧の夢に、融の大臣が在りし日の装いで現れ、昔を偲んで舞を舞い、やがて夜明けとともに月の都へ帰っていった。

遊曲之舞・舞に翁の型を取り入れるなど、融をより神格化した演出。(約九十分)

令和八年 十月 自主公演番組予告

令和八年 十月二十五日(日) 十三時始

● 会場 十四世喜多六平太記念能楽堂(喜多能楽堂)

● 前売券 販売中

頼 政 狩野了一

紅葉狩 栗谷明生